

会社説明資料

atect

株式会社アテクト

JASDAQ
Listed Company 4241

第1部

会社の概要

会社概要

商号	株式会社アテクト (英語社名:atect corporation)
本社	大阪府東大阪市角田二丁目1番36号
設立	1969年4月23日
代表者	代表取締役社長 小高 得央
資本金	729,645千円(2007年9月末日現在)
売上高	30億6,520万円(2007年3月期)
従業員数	73名(ほか、平均臨時雇用者数149名) (2007年12月末日現在)
事業内容	半導体資材事業 衛生検査器材事業 ポリマー微粒子事業

社名の由来

atect

半導体保護資材事業の「Protect = (電子部品を)保護する」
衛生検査器材事業の「Detect = (菌を)検出する」

アルファベットの頭文字

業界のトップランナーを目指す

半導体資材事業

情報電子機器部品の製造・搬送工程における
部品保護用品の開発・製造・販売



衛生検査器材事業

バイオ・食品・医薬品などの分野における検査
用衛生管理用品の開発・製造・販売

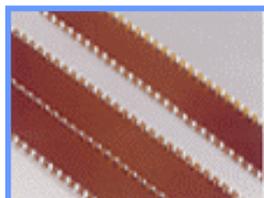
主要製品

半導体資材事業

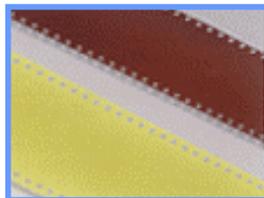
高集積化・微細加工化が進む電子部品の信頼性・安全性の確保に欠かせない重要な資材を開発・供給しています。



TAB¹用・COF²用
スペーサーテープ



モールドスペーサー
テープ (PAT)



リーダーテープ

主な保護対象

液晶テレビ・プラズマテレビ
用ドライバLSI

パソコン用の液晶
ディスプレイのドライバLSI

携帯電話用の液晶ディス
プレイのドライバLSI

ICカード(決済、ID用途)
のICモジュール

1 TAB (Tape Automated Bonding)...テープフィルムをLSIの実装基板として使用する方法

2 COF (Chip on FPC)...半導体LSIをフレキシブルプリント配線板にフリップチップ実装する技術。TABに比べ、配線の微細化に優れている。

主要製品

衛生検査器材事業

現場のニーズに的確に応える独自の開発により、特化した分野の衛生管理用品を供給しています。



培地分注済み製品

液体培地
スタンプ培地
滅菌希釈水
水質試験用 大腸菌(群)
検査試薬コリターゲット 等



ディスポ製品

シャーレ
ディスポスポイト
サンプリングバッグ
CRスタンプ 等

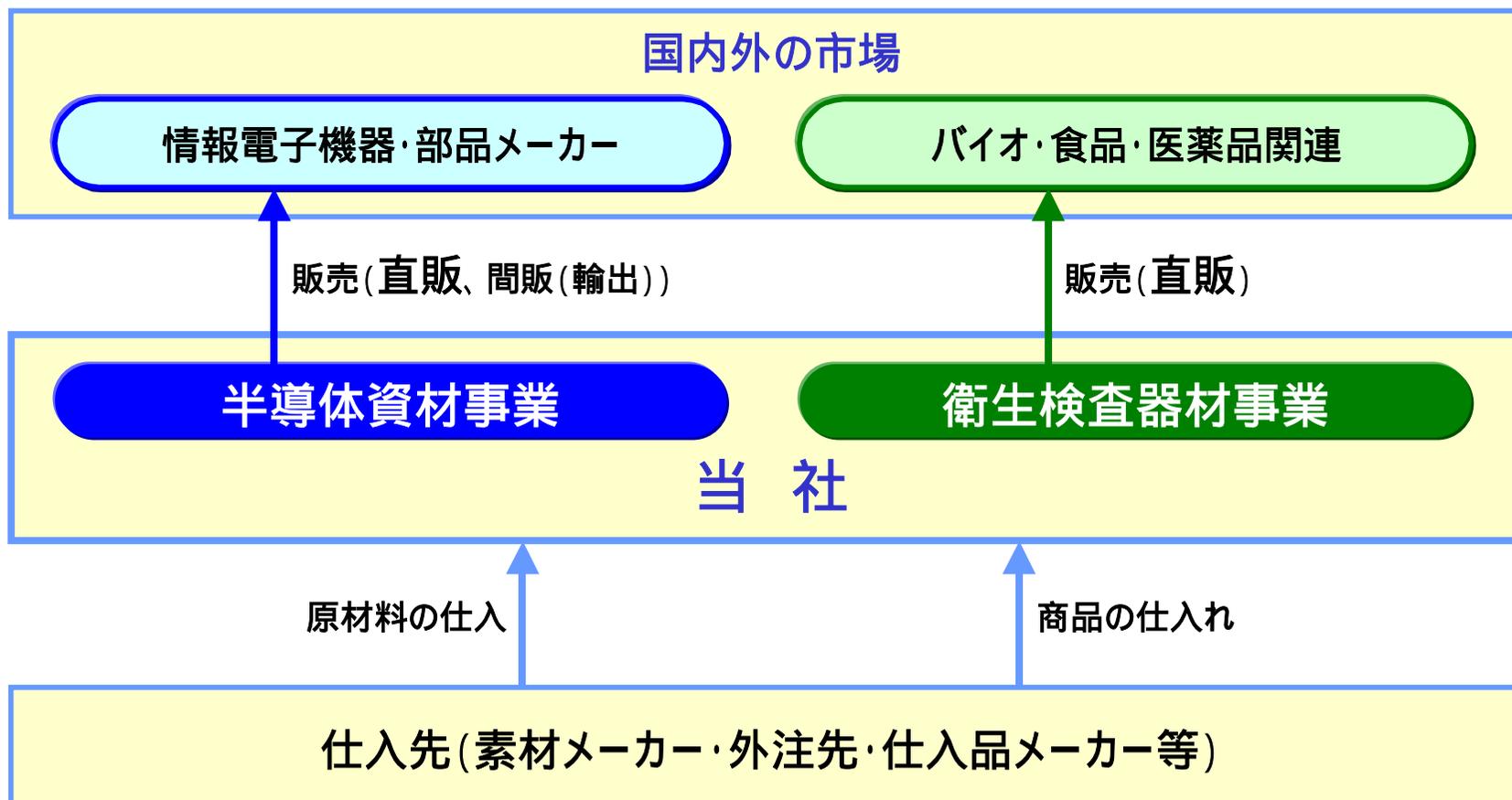


その他

迅速検出用試薬
除菌スプレー
アルカリ洗剤
インパクトA
アルミホイル
精製水
粉末培地 等

事業系統図

「直販」にこだわったビジネスモデルの構築を推進しています。



当社の歩み

【第1期】
創業と模索の時代
1969年～1989年

1969年 合成樹脂製品の製造販売を
目的に大日化成工業(株)設立

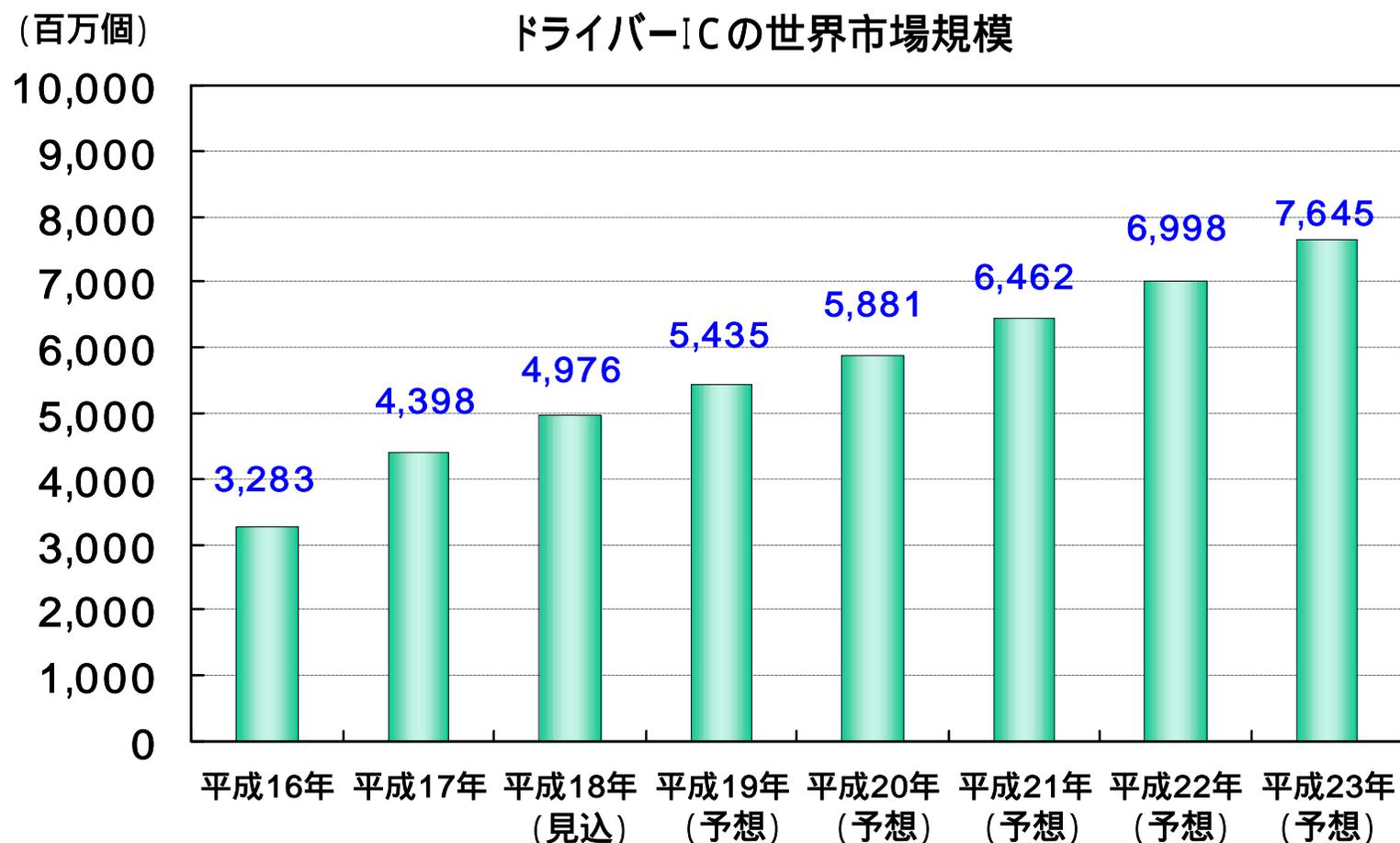
【第2期】
事業創造と基盤整備
の時代
1990年～現在

1990年 スペーサーテープの製造を開始
1994年 シャーレの生産を開始
1999年 寒天培地をシャーレとのキットで
販売開始
2003年 商号を(株)アテクトに変更
2005年 大腸菌及び大腸菌群検出用機器
「コリターゲット」の製造、販売権譲受
2006年 本庄工場稼動
ジャスダック証券取引所に株式上場
韓国に子会社アテクトコリアを設立
2007年 アテクトコリア韓国工場竣工
2008年 ポリマー微粒子新規事業開始

第2部

当社の特色

当社製品の用途市場は中期的に成長



(出典:富士キメラ総研「2006液晶関連市場の現状と将来展望」)

半導体資材関連 市場における地位

世界市場シェア

約70%

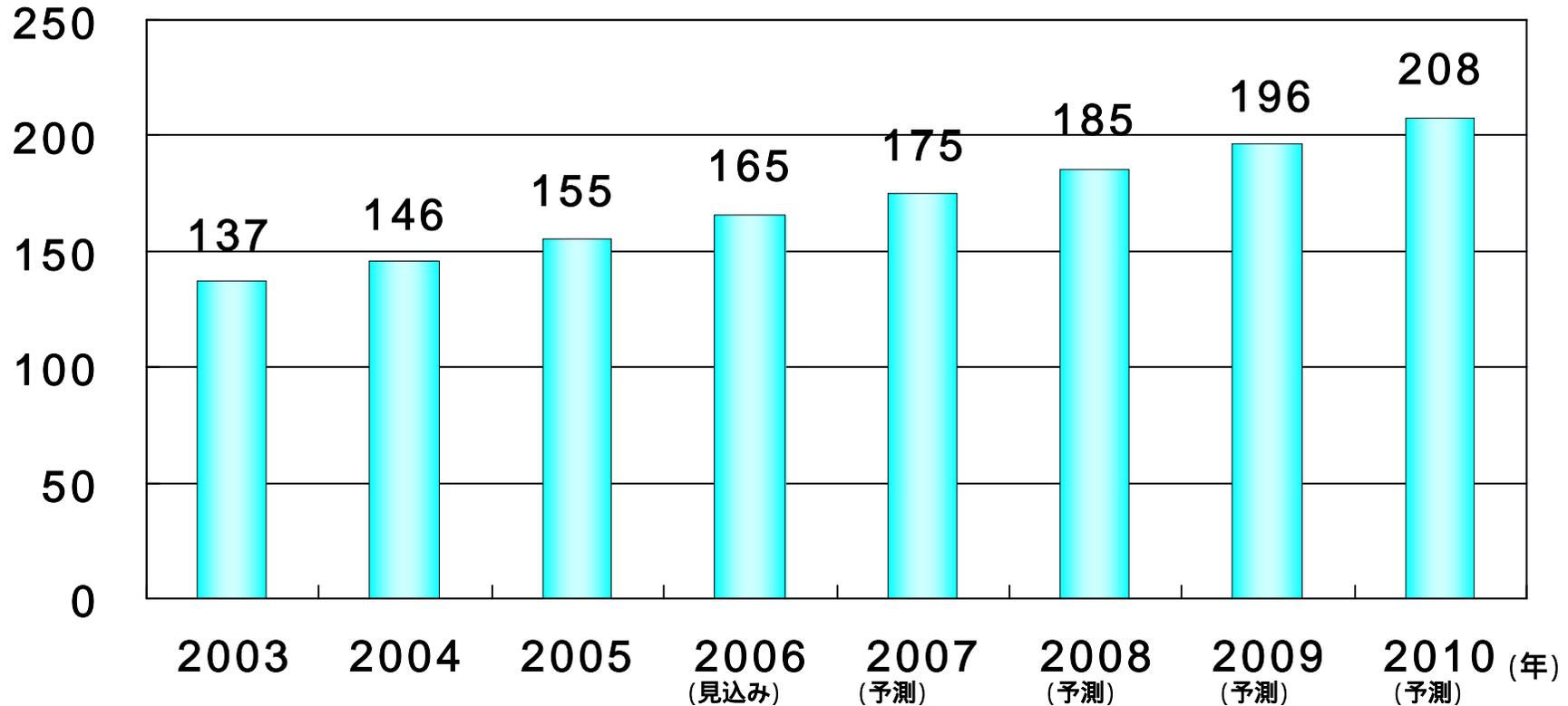
競合企業

- 株式会社ミネロン(大阪府八尾市)(非上場)
- 河村産業株式会社(三重県四日市市)(非上場) 等

遺伝子組換作物検査・アレルギー検査など 新検査も加わり、培地・試薬市場は着実な伸び

培地・試薬市場規模(細菌微生物検査及び環境衛生検査市場)

(検査数:百万件)



* 出所:富士経済「2006食品検査市場」

国内市場順位
3位グループ

競合企業

- 日水製薬株式会社 (東証一部上場)
- 栄研化学 (東証一部上場)

等

当社の特色と強み 全社

直販体制・内製化・垂直統合を特徴としたビジネスモデルにより
常に業界に先んじた新しい価値の提案を継続

ビジネスモデルの特徴

直販体制

+

内製化

+

垂直統合

主な強み

顧客ニーズへの素早い
レスポンス

新商品・サービス開発力

最先端設備による高品質

大量購買・大量生産に
よる低コスト構造

世界でトップのシェア(約70%)を獲得

独自開発(金型、製造機械からコーティング技術まで)

個別対応(徹底した顧客第一主義)

ノウハウ・パテント

当社の特色と強み 衛生検査器材事業

当社オリジナルブランド

Full-Steri

確かなブランドとして高い信頼を獲得

このブランド名には、当社が目指す「完全滅菌」という意味合いが込められています（「Sterile = 滅菌された、無菌の」の造語）

業界の常識を打破した「製造直販」を展開

（納入実績 8,000社超）

ニーズの直接把握と製品への迅速な反映

関連商品・サービス（ハード～ソフト（衛生検査指導））

当社の特色と強み 製造技術力

半導体資材事業・衛生検査器材事業ともに求められる品質確保に向けクリーンな製造環境と独自製法を確立

ニッチ分野での製造開発

半導体製造工場並みのクリーンルーム

各種のパーティクル(粒子)対策

独自製法の開発

複数の協力会社とのタイアップ



第3部

業績・財務の推移

業績推移

(単位:百万円)

	2005年3月	2006年3月	2007年3月	2006年9月	2007年9月
売上高	2,316	3,014	3,065	1,559	1,692
営業利益	252	410	213	144	116
経常利益	270	387	178	115	106
当期(中間)純利益	19	215	103	68	54
総資産額	2,890	3,278	3,273	3,413	3,858
純資産額	940	1,193	1,956	1,984	1,985
自己資本比率	32.5%	36.4%	59.8%	58.1%	51.5%
営業CF	119	266	46	68	132
投資CF	124	269	256	120	317
財務CF	270	97	248	302	328

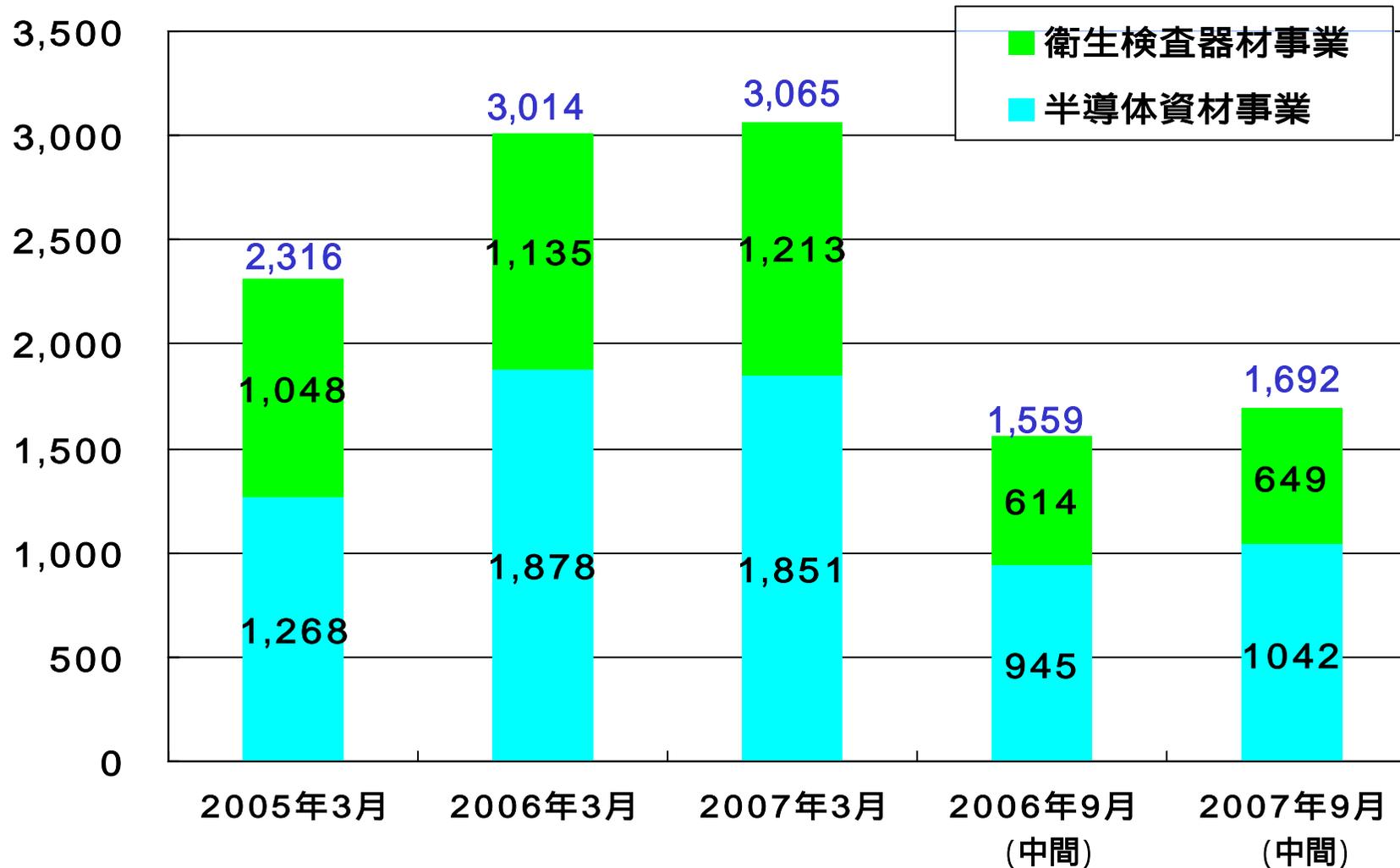
2007年9月は連結での記載となります。



売上高



(百万円)



2007年9月は連結での記載となります。



営業利益・經常利益・当期純利益

■ 営業利益

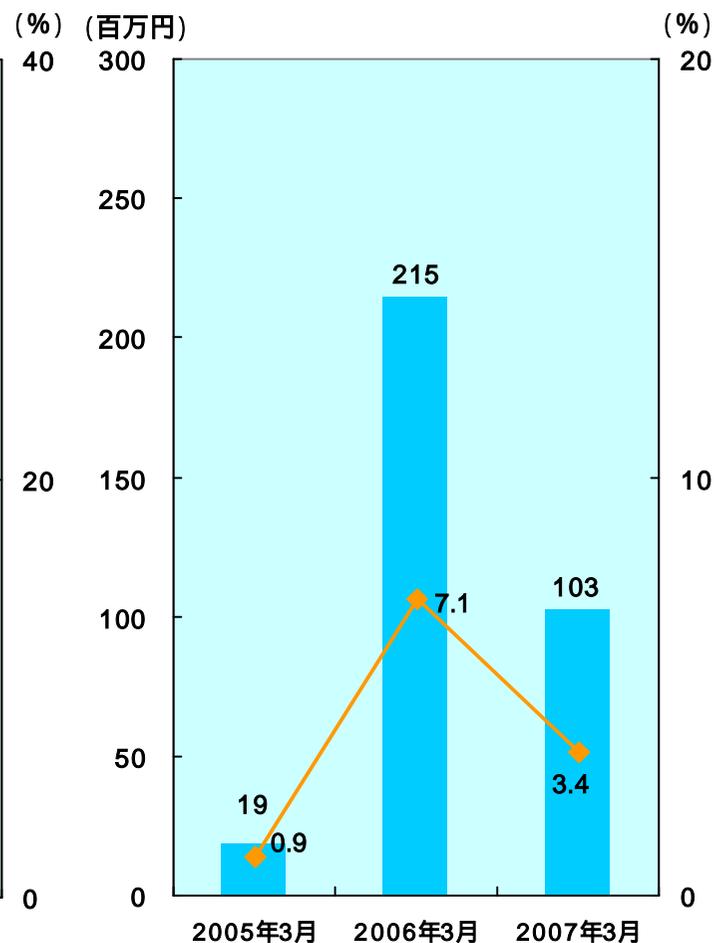
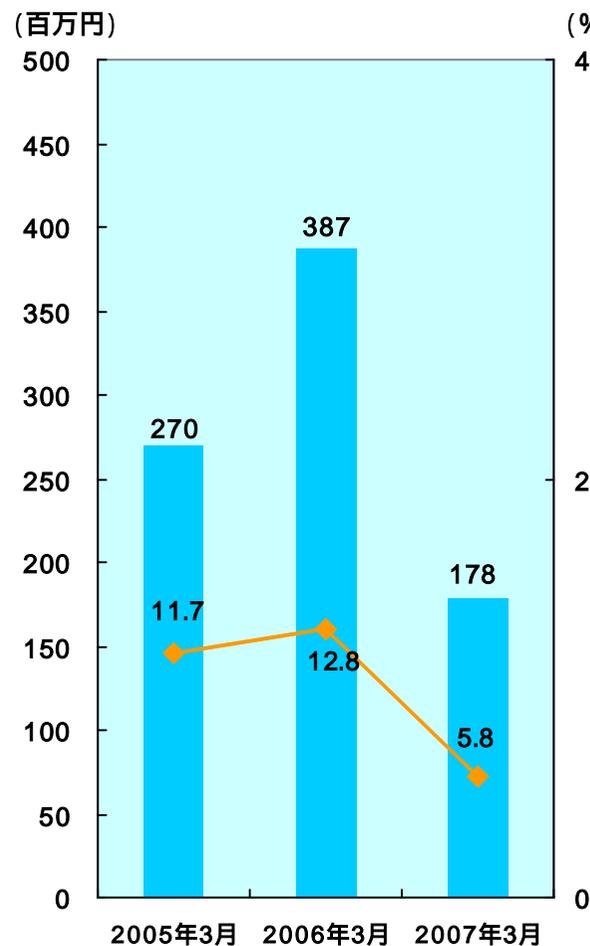
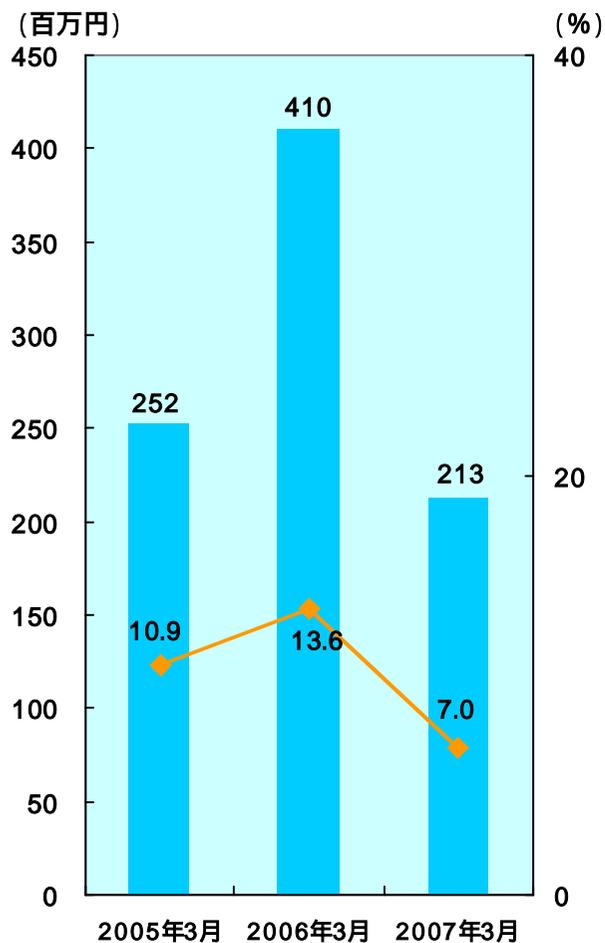
◆ 営業利益率

■ 經常利益

◆ 經常利益率

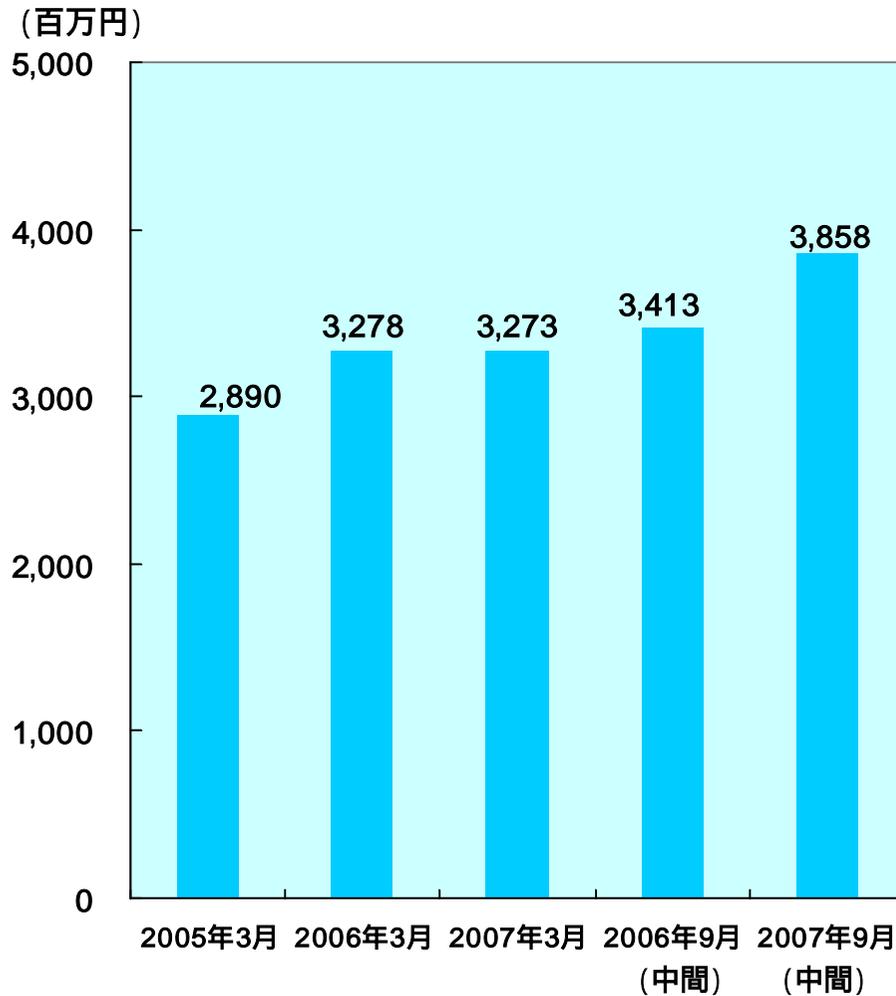
■ 当期純利益

◆ 当期純利益率



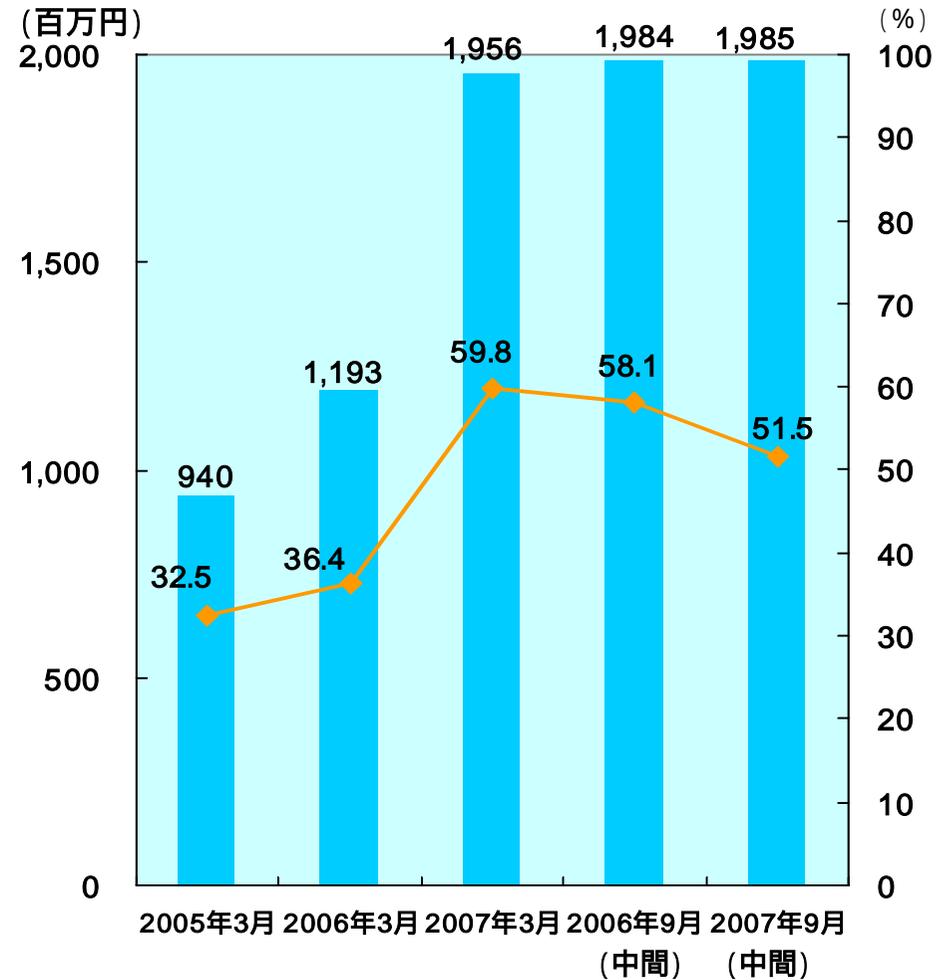
総資産・自己資本・自己資本比率

総資産



純資産

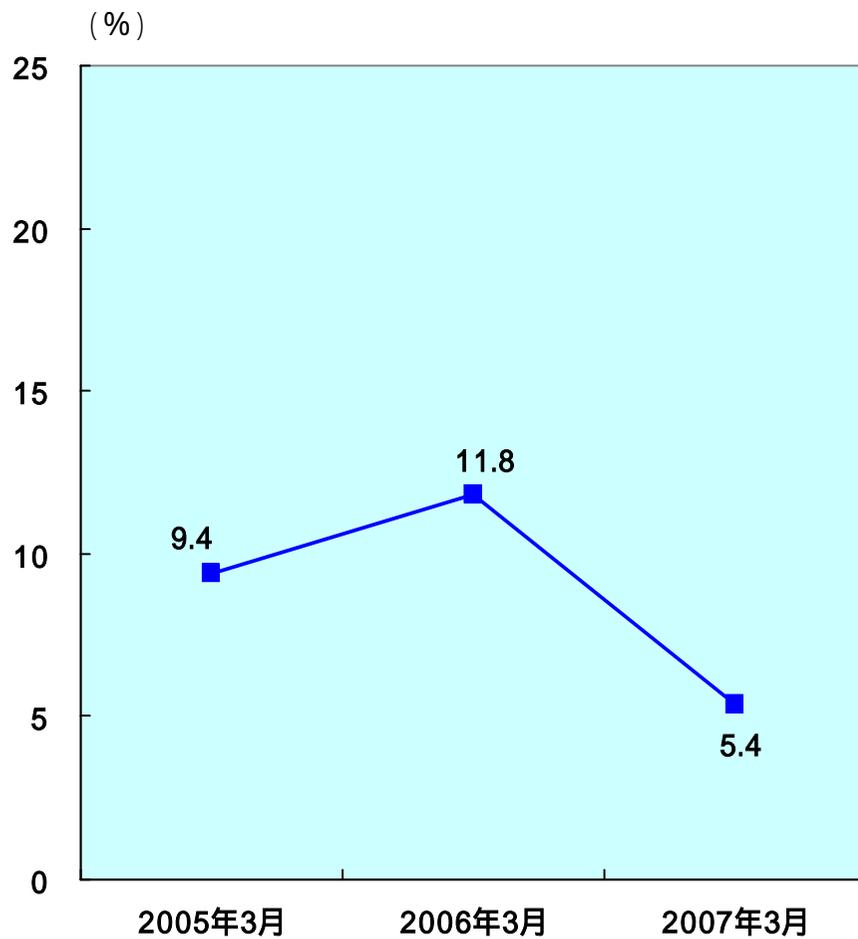
自己資本比率



2007年9月は連結での記載となります。

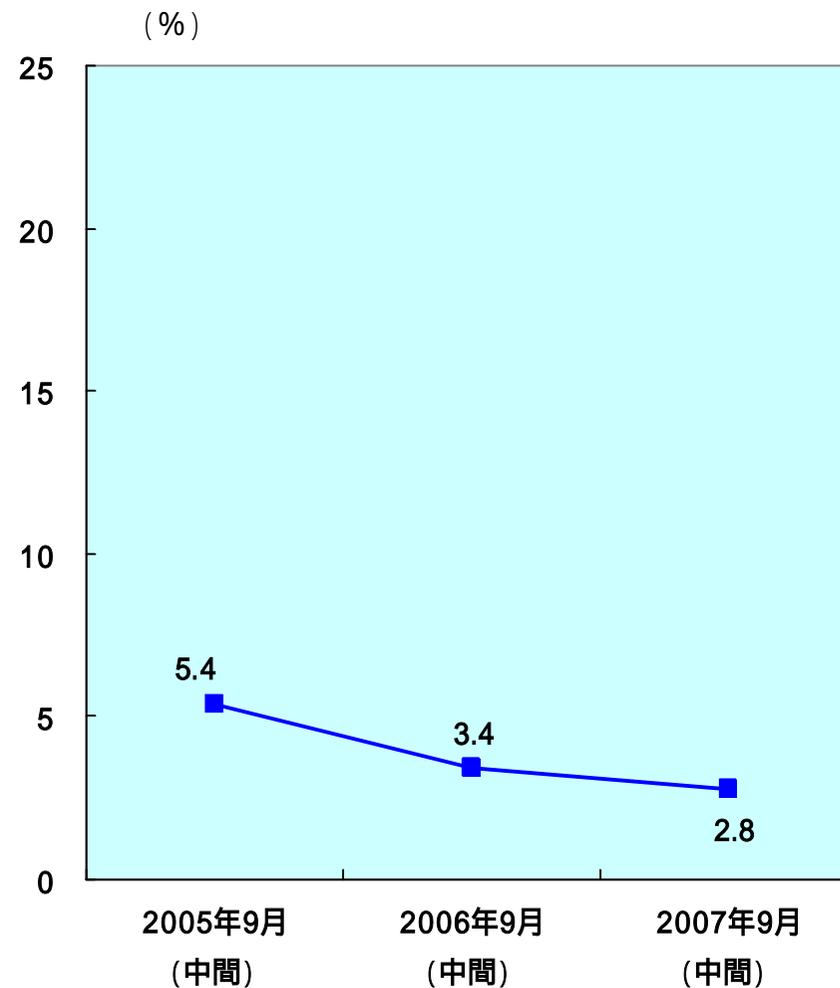
収益性

■ 総資本経常利益率



2007年9月は連結での記載となります。

■ 総資本経常利益率



第4部

今後の経営戦略

顧客力主義

顧客との接点を増やし、強くすることで
認められるオンリーワン企業になる

- ◆ お客様が満足できる高品質
- ◆ お客様が認めるグローバル企業へ
- ◆ お客様の期待に応える成長・発展・飛躍

中期経営計画基本方針

- アテクトコアを始めとした積極的なグローバル戦略
- 研究開発テーマの早期商品化と深化
～ 萌芽期から成長期へ～
- 今まで培ってきた「ものづくり」技術の伝承・進化
- 常に支援いただいている株主への還元策検討

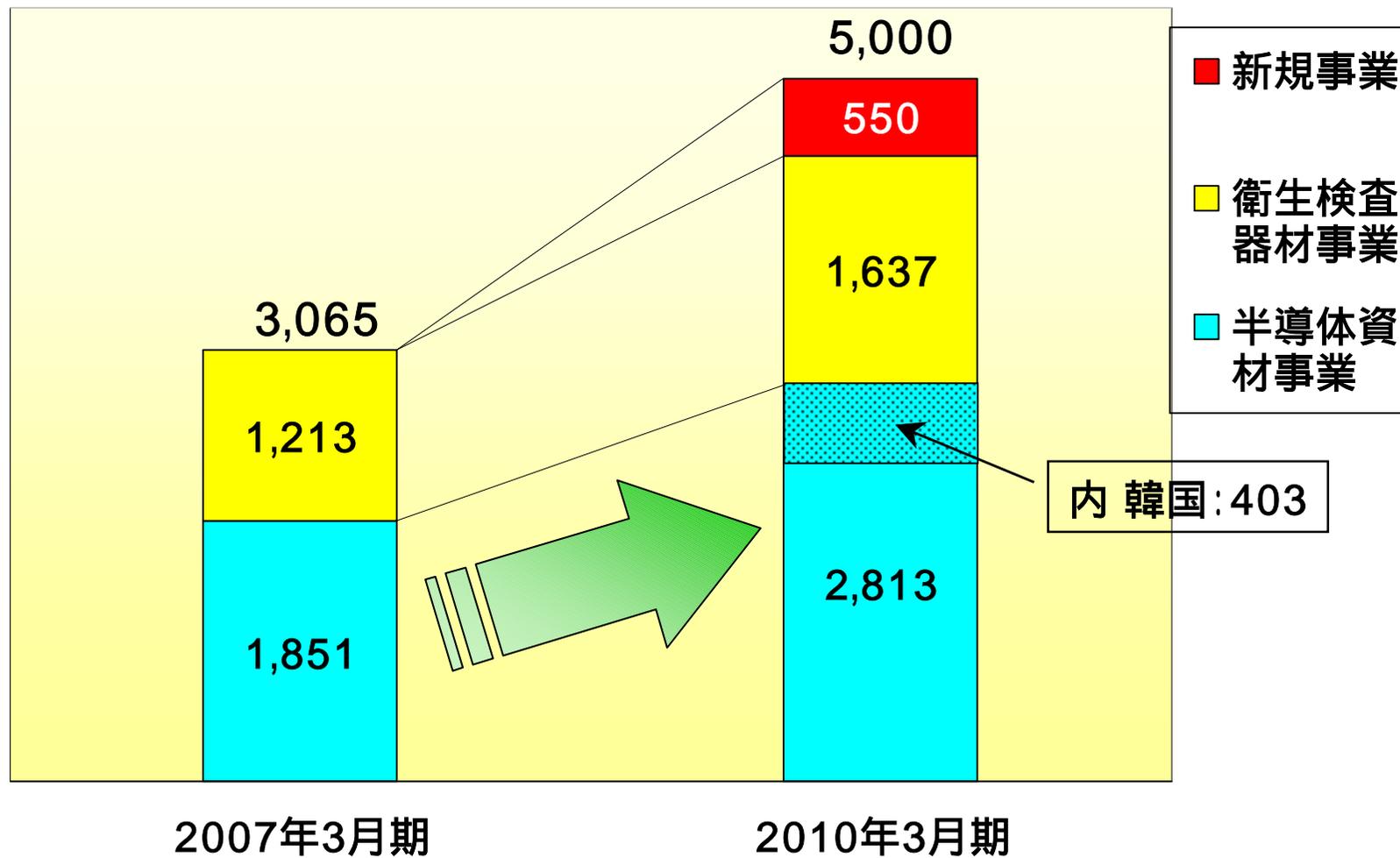
中期計画数値目標

(単位:百万円)

	2007年3月期 (実績)	2010年3月期 (計画)	年平均 伸び率
売上高	3,065	5,000	18%
営業利益 (営業利益率)	213 (7.0%)	700 (14.0%)	48%
経常利益 (経常利益率)	178 (5.8%)	680 (13.6%)	56%
ROA	5.4%	15.0%	-
研究開発費 売上高比率	1.8%	5.0%	-

セグメント別売上目標

(単位:百万円)

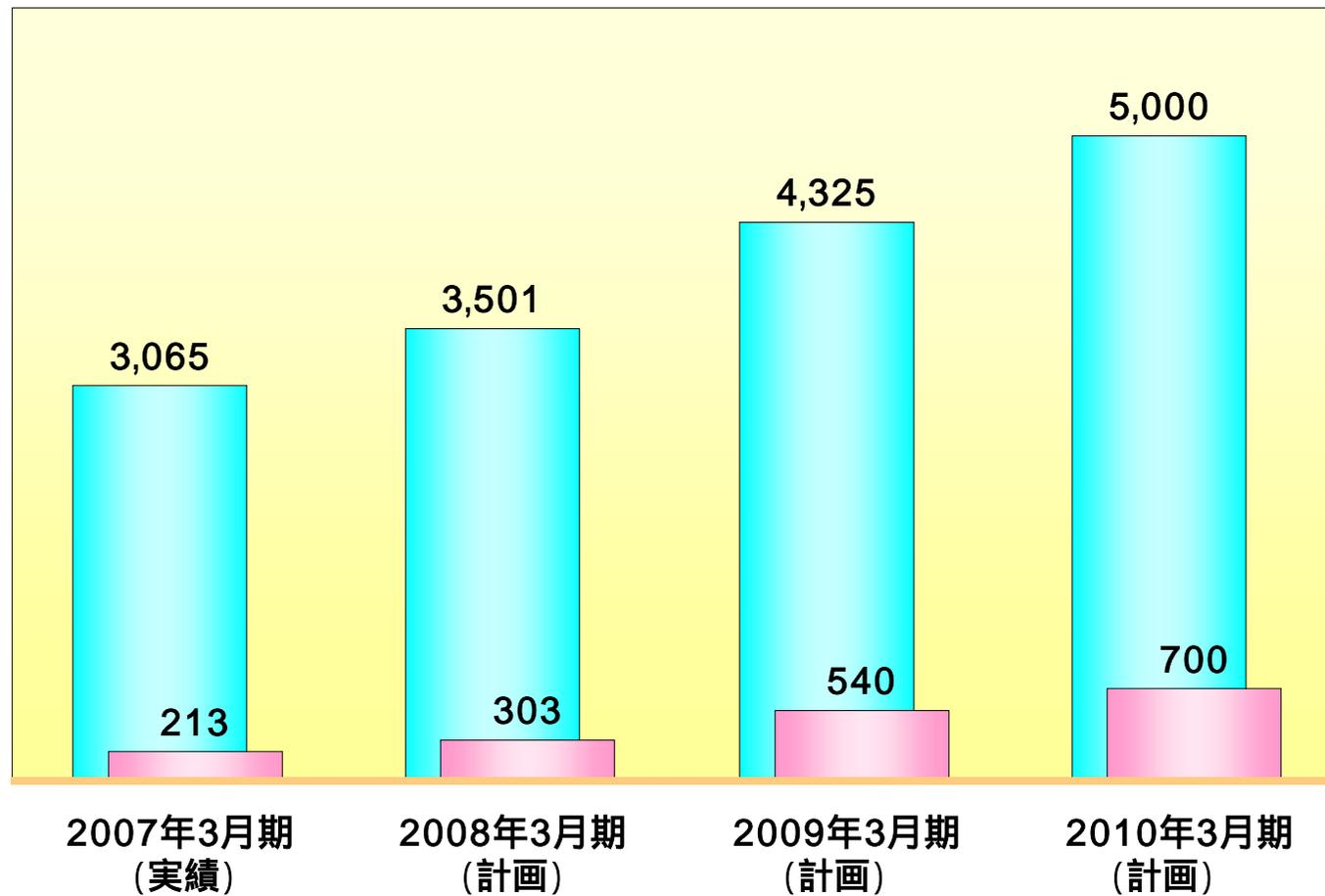


中期計画 年別計画数値

(単位:百万円)

■ 売上高

■ 営業利益



半導体資材事業

事業施策

➤ 競合他社との製品の差別化(新製品の開発、徹底したパーティクル(付着粒子)対策等)による大手企業におけるシェアの上昇

- 世界市場におけるシェアアップ

日本・台湾市場において安定した地位を確立、70%を80%へ

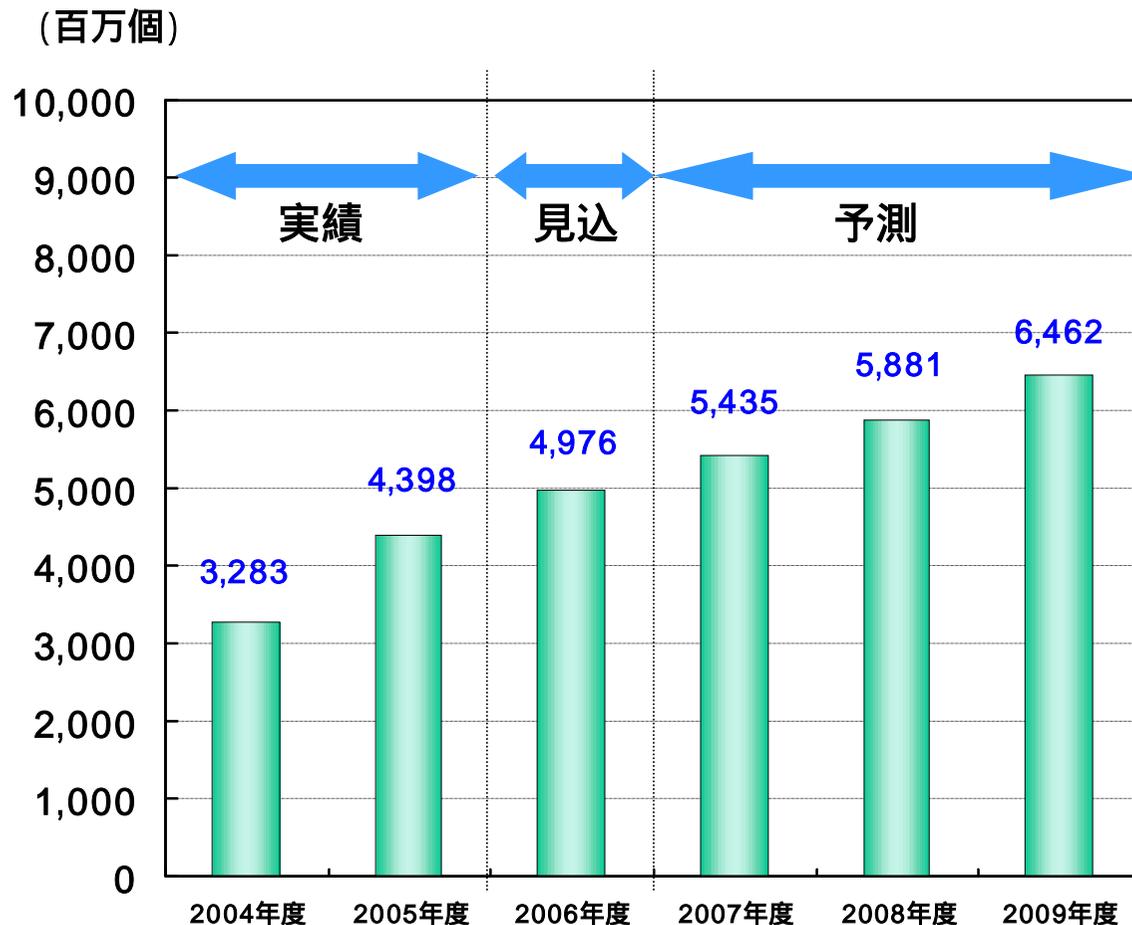
➤ (株)アテクト코리아の本格稼働(2007年度下期見込み)、韓国他社との協業拡大

- 韓国市場におけるシェアの拡大

現在の15%程度から2010年3月期には60%を目指す

半導体資材事業

市場の成長予測



2006年度から
2009年度まで
に30%程度の
成長が予想され
ている

(出典:富士キメラ総研「2006液晶関連市場の現状と将来展望」)

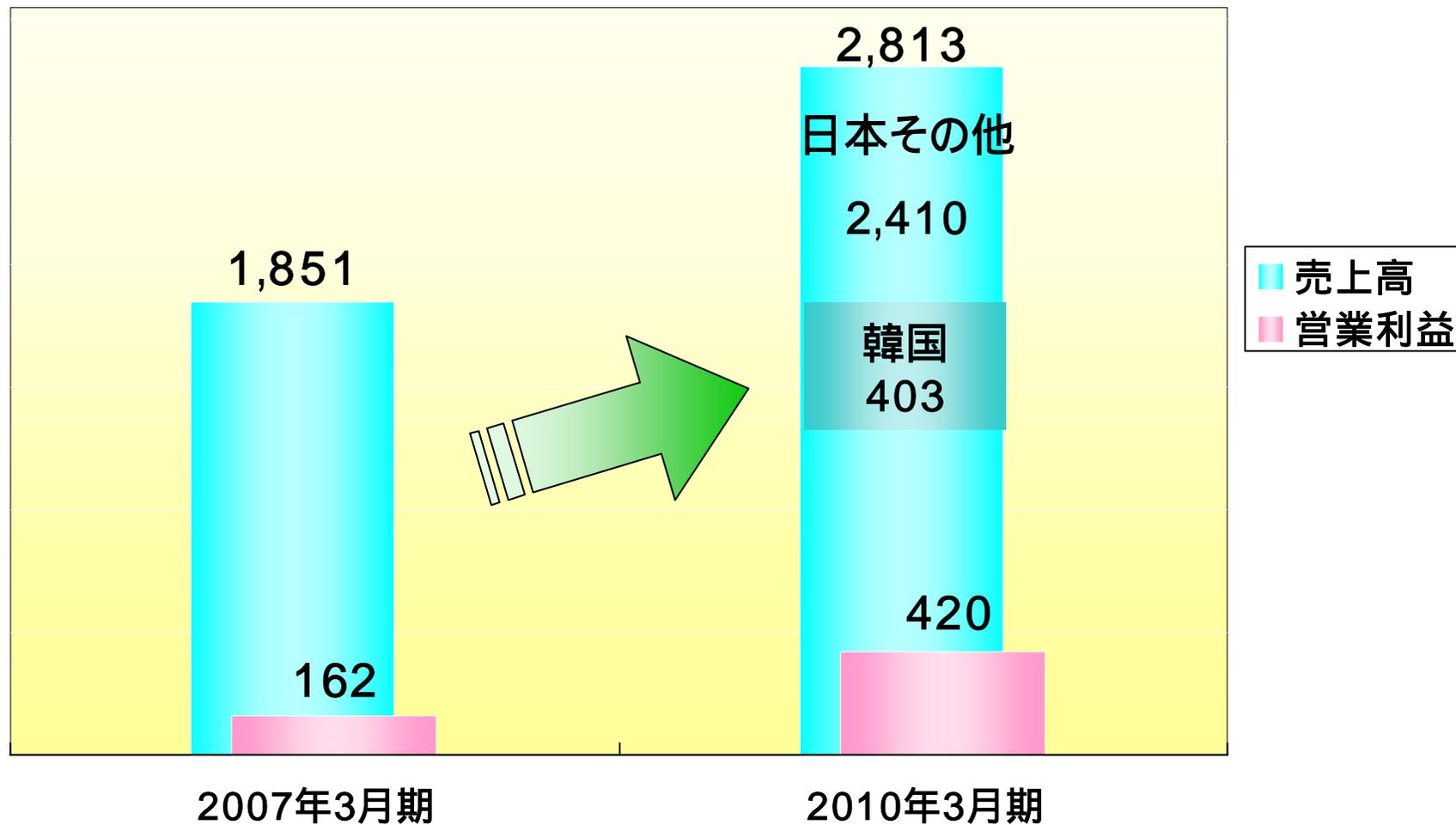


半導体資材事業



業績目標

(単位:百万円)



衛生検査器材事業

事業施策

➤ 直販体制の拡充による顧客満足度の向上

- 新規技術開発による高付加価値商品の供給拡大
- 東日本地域への製品供給拡大
滅菌シャーレマーケットシェア 50% を目指す

➤ 自社で培ったノウハウを活用した新サービスの提供

- 海外市場(韓国・中国etc.)への本格進出
品質の優位性に基づいたブランドイメージを確立し、
韓国市場にて滅菌シャーレマーケットシェア 20% を目指す
- 外食産業店舗向け衛生指導サービス開始による
新ビジネスフィールドの創出

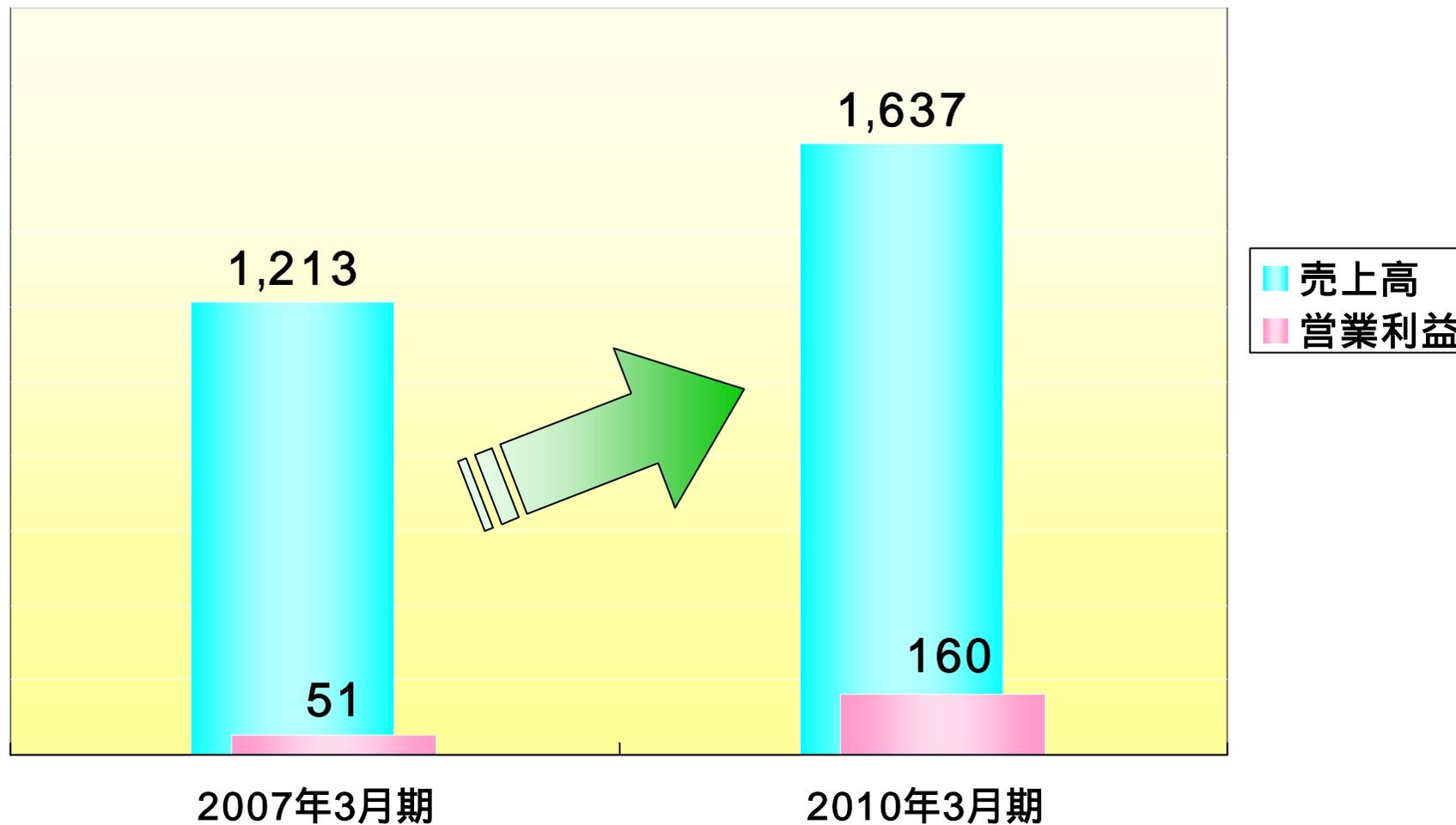


衛生検査器材事業



業績目標

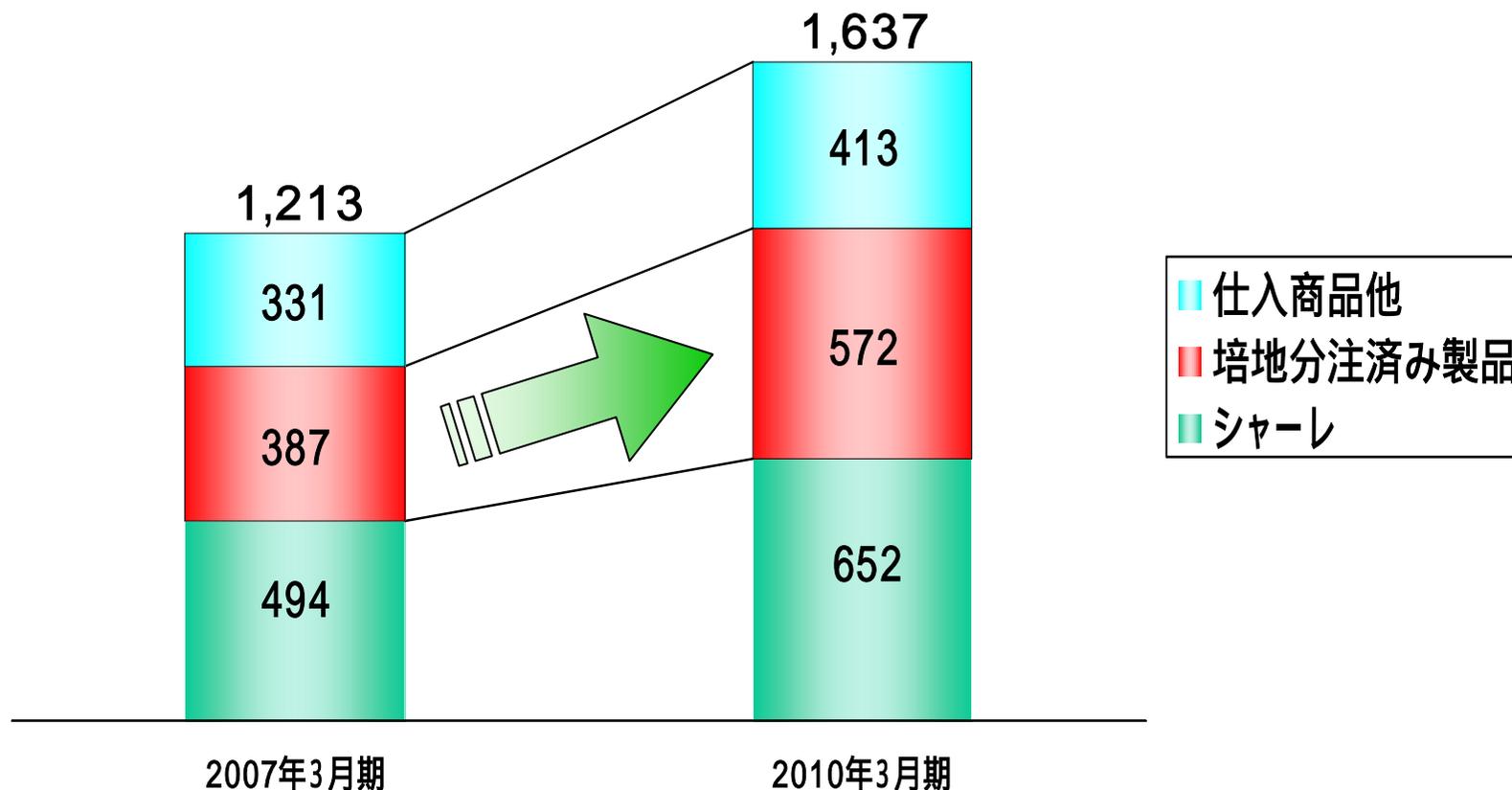
(単位:百万円)



衛生検査器材事業

商品群別売上目標

(単位:百万円)



基本方針と事業施策との関連

基本方針	半導体	衛生検査	ポリマー微粒子
積極的なグローバル戦略	◆ 韓国現地法人の本格稼動と韓国企業との協業	◆ 海外市場への本格進出	
研究開発テーマの早期商品化と深化	◆ 競合他社との差別化	◆ 高付加価値商品の供給拡大	◆ 積層造形 ◆ 化粧品
「ものづくり」技術の伝承・進化	◆ 競合他社との差別化	◆ 高付加価値商品の供給拡大	

新規事業開発

主な研究開発テーマ

- ▶ 食中毒菌検出用マイクロデバイスの開発
 - 高価な設備や複雑な作業を伴わない迅速簡便検出法の創出
- ▶ マイクロバイオリアクターを利用した薬物代謝評価システム
 - 創薬において効果的に薬物代謝情報を取り出す
大阪大学と共同研究
- ▶ 分子鋳型を用いた生体分子のセンシング
 - 生体物質を電気化学的に計測するセンサーの開発に向けて
大阪府立大学と共同研究

M & A戦略

対象分野

- ▶ バイオ関連
- ▶ 衛生検査関連
- ▶ 半導体関連 (ケミカル・有機合成・半導体アSEMBリなど)
- ▶ その他周辺領域の関連 - 医療関連 (診断・創薬など)

資金調達には金融機関からの調達にて行う予定。

取引銀行と当座貸越及びコミットメントライン契約を行っており、2007年9月末日現在、10億円の枠を設定。

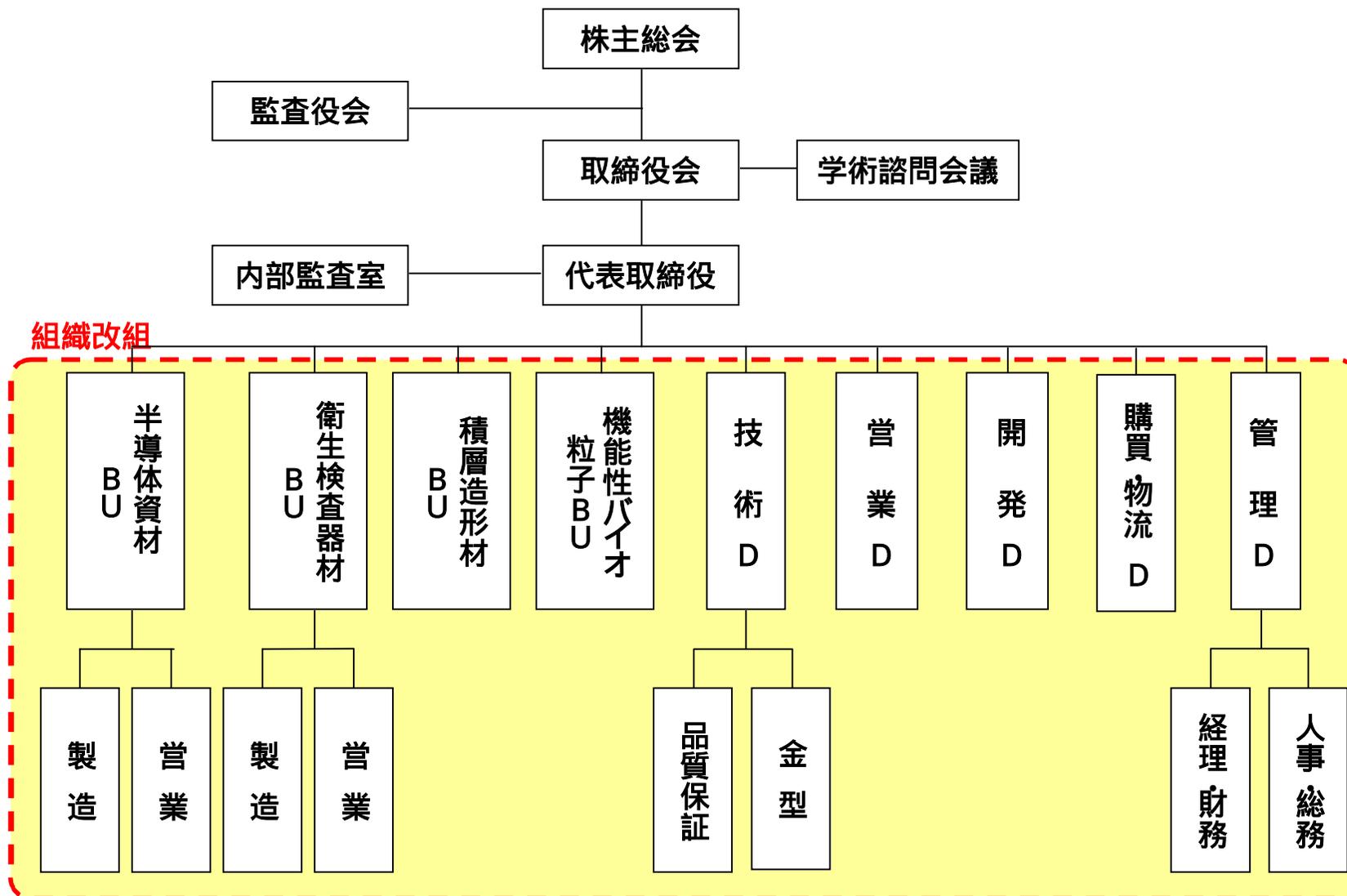
うち、未実行残高は6.5億円。

組織体制強化のねらいと施策

- ▶ 事業単位毎の損益管理の徹底、事業運営の効率化と質の向上
 - 職能別組織からビジネスユニット制の導入へ
 - 新規事業のスタートと共に2ビジネスユニットを創設

- ▶ 組織の成長に合わせた安定的な人材確保、人員構成の適正化
 - 2008年4月新卒採用の開始

新組織の概要



BUはビジネス・ユニット Dはディヴィジョン

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 管理ディヴィジョン IR担当

TEL : 072-967-7000

E-mail : ir@atect.co.jp